

果樹カメムシ情報第3号

平成26年7月16日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺数が7月上旬に急増！
果樹園への飛来に注意してください！

1 発生状況

- (1) フェロモントラップにおける誘殺数は、豊田市、幸田町、新城市のいずれの地域でも7月上旬に急増しました（図1）。
- (2) 予察灯における誘殺数は、チャバネアオカメムシは平年並ですが、ツヤアオカメムシは引き続き多い状況です（図2）。
- (3) モモ、ナシで、果樹カメムシ類による被害が一部地域で見られます。

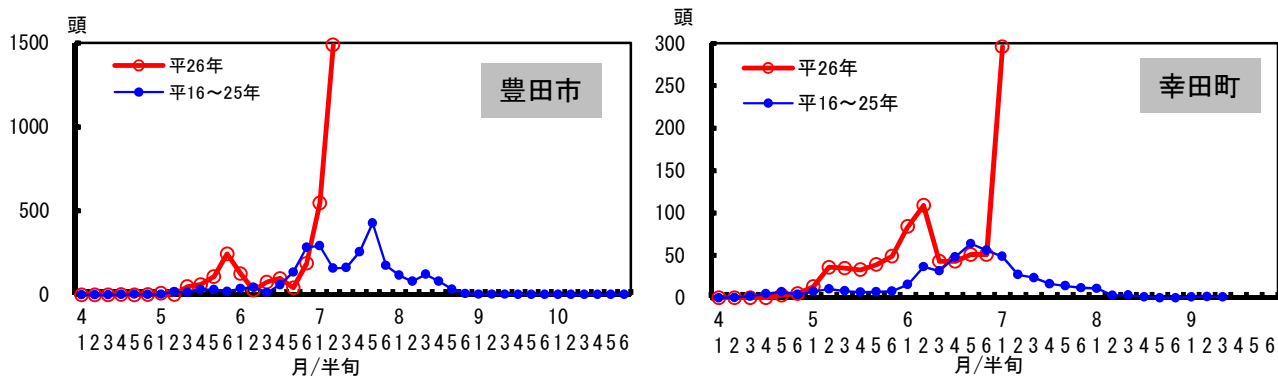


図1 チャバネアオカメムシのフェロモントラップにおける誘殺数

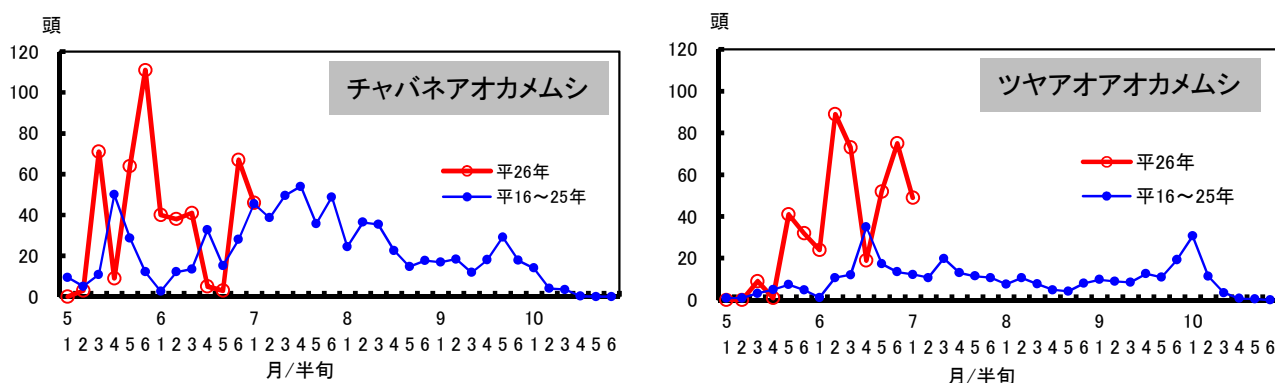


図2 豊橋市の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺数

2 今後の発生予測

現在、果樹カメムシ類はスギ・ヒノキ球果を餌として成育していますが、球果が吸汁され、餌として適さなくなると、果樹園へ飛来してきます。本年は、越冬成虫量がやや多く、餌となるスギ・ヒノキの球果量がやや少ないことから、越冬成虫が餌を求めて果樹園へ大量に飛来するおそれがあります。ほ場での発生状況に十分に注意し、防除が手遅れにならないように適期に防除しましょう。